

令和2年 8月 24日発行 第6号

## 学校教育目標「認めあう」

●志 抱いて 学びあい ●豊かな心で 思いあい ●元気にスポーツ 鍛えあい



# 二中だより

松伏町立松伏第二中学校

〒343-0115

北葛飾郡松伏町上赤岩 711

TEL 992-0051

<http://matsubushi.ed.jp/matu2tyu/>

発行責任者 校長

## 随感随筆 2学期始業にあたり

校長

この夏は、住んでいる地域の回覧板が回るたびに、夏を感じさせてくれるあらゆる祭りや行事の中止が伝えられ、残念に思いました。生徒は、夏や夏休みを満喫できましたでしょうか。短い休みでもありましたが、それでも生徒は、きっと成長した姿で今日登校してくると思います。再会が楽しみです。ただ、例年であれば、2学期の始業式の頃には朝夕に秋の気配を感じるものですが、今年は梅雨明けが8月に入ってからだったせいか、酷暑が続いています。さらには始業式が1週間早いこともあって、生徒は登下校がしばらく大変ではないかと心配しています。

さて、藤井聡太棋聖の快進撃が止まりません。破竹の勢いで、将棋界の最年少記録をことごとく塗り替え、世の中は将棋ブームが巻き起こっています。ところが、藤井棋聖のすごさと、どうして皆さんが棋聖の指し方にこれだけ興奮するのかを理解するのに、私の将棋に対する知識は圧倒的に足りません。おそらく私の一生で一回の、歴史的な瞬間に立ち会っているのだろうに、その偉業の深い部分が理解できず、もっと将棋を学んでおけばよかったと口惜しく思っています。ところで、藤井棋聖がこれだけ強く成長した理由として、

- よい師に出会ったこと、人に恵まれたこと
- 詰将棋など、基礎的な力を徹底的に高めたこと
- 安易に最善手を得ずに、徹底的に自分で考えたこと

などが報道されています。どんな分野であっても、成功する人には、共通した理由があるように思います。そして棋聖は、中学生になると積極的に人工知能(AI)の活用を図りました。棋聖には、「基礎力」と「自分で考える」素地があったので、人工知能の新たな指し方を自分の考えと比較することができて、飛躍的に棋力が高まったそうです。もしも、もっと早くから人工知能を使ってしまっていたら、強くなるどころか、逆に弱くなっていたでしょう。身に付ける順番が大切なのだと思いました。また人工知能に対して、私は、人間から働く場所をどんどん奪っていってしまう悪いイメージもあります。しかし、これからの若い人たちは上手に人工知能と付き合っていくって、今まで人間が見たことのない景色を見ることが可能になっていくのでしょうか。将棋界の若き天才の活躍から、人間と人工知能との望ましい付き合い方が見えてくるように思いました。

結びとなりますが、1学期に引き続き、先行きが不透明な2学期になります。生徒の安全確保・健康管理と、学び・体験活動の機会の保障のために、生徒・保護者・地域の皆さまには、例年であれば当たり前できていたことも我慢いただかなければならないことが、残念ながらたくさん出てくると思います。ご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

